

日本アロマコーディネーター協会設立20周年

～みなさんとともに歩んだJAAストーリー～

後編 アロマコーディネーターの成長と未来への物語

幡井勉会長逝去 自然療法の研究と実地に費やした生涯

2010年2月、かねて療養中だった幡井勉会長の訃報がJAAに入りました。幡井勉先生はJAAの初代会長であり、その存在感は圧倒的でした。日本におけるアーユルヴェーダの先駆者、研究家であり、亡くなる直前まで現役ドクターでもありました。そして、当時はまだ日本に根付いていなかったアロマセラピーを深く理解したいという想いに溢れていました。

東洋医学、インド伝承医学の権威でありながら、人間味に溢れ、奢ったところはまるでなく、謙虚でどなたにも親切に、一医学者としての立場を生涯貫き通した幡井先生と出会えたことは、JAAにとっても素晴らしい財産となっています。



先生との忘れられないエピソードは多くありますが、大阪出張の際、お酒を召し上がった幡井先生が、同席していた女性に終始「今日は一言、アーユルヴェーダという言葉だけ覚えてください」と嬉しそうに話していたことが今でも懐かしく思います。

また驚くばかりの強靭さで、亡くなる2010年の前年の8月には隠岐の島（島根県）まで薬草の調査に行き、その年の秋には普段と変わらないアーユルヴェーダの講義を務められました。病床においては「まだ、書きたい本があるんです」とおっしゃり続けた、最期の最期まで男らしく格好良い先生でした。奥様を、ネコを、そしてアーユルヴェーダをこよなく愛した幡井先生はJAAの永遠の存在です。

東日本大震災への復興支援について

2011年3月11日、日本中を震撼させた東日本大震災が発生いたしました。

東京都渋谷区にあったJAA事務局でも強い揺れを感じ、道路には建物から避難した大勢の方々姿がありました。電話は通じず、ニュースで流れる断片的な映像のみの中で、どこでどれだけ被害が発生しているのかさえ分からない状況。その後、私たちが体験したことのないような激甚災害であることが判明し、津波の被害、原発の影響など、未だに多くの方々が大変なご苦労をなさっていらっしゃいます。

震災の直後からJAAの講師、スタッフ、そして、実に多くの全国各地の会員の皆さんが東北地方を中心とした被災現場に向き、様々な支援を行っています。JAA事務局でも、支援のための情報を配信し、物資の提供、義捐金の募集、被災地域の方への割引制度の導入、チャリティセミナーの開催等を通じ、継続して復興支援を行っています。



被災地の方々には、当時資格の取得・活用といったことよりもまずは生活を安定させることが最優先の状況であり、今もなお復興が遅れている地域も多いですが、ようやく昨年頃から震災地域にお住まいの方が、「こんなときだからこそ、アロマを学習して人の役に立ちたい」と、アロマコーディネーターを目指し、受験者も生まれ始めました。アロマセラピーは、人と人をつなぐ絆としても活用いただける。そう実感しました。



原千晶さんの就任 自分の経験から癌ケアのサポートを



2013年9月、女優・タレント、そしてJAA認定インストラクターでもある原千晶様にJAAの名誉理事にご就任していただきました。

原さんはご自身の体調不良からアロマと出会い、アロマコーディネーターライセンスを取得後、翌年には優秀な成績でインストラクターライセンスを取得されました。その後、JAAでのセミナーや講演の開催を経て、名誉理事就任のお願いをしたところ、快くお引き受けいただきました。就任後も各種講演、香りのコンテストの審査などをしていただいています。

原さんご自身、2度の癌を患い、その経験から女性特有の癌患者を支援する「よつばの会」を立ち上げ、全国で精力的に活動を続けられています。JAAでも主旨に賛同し、微力ながらご

支援をさせていただいています。

また、昨年まで3年連続でJAA感謝祭「いやしの祭典」での講演をしていただきました。特に昨年は大阪、仙台、名古屋の3会場にて、ご自身のアロマや癌の体験などを通じた原さんならではの講演していただきました。生死をさまようほどのご経験をされたにもかかわらず、それを私たちに隠すことなく語り、女性が女性らしく、またどんな逆境でも前を向き将来を信じて歩むことが大切だという、そのいつも明るく前向きな姿勢に勇気づけられた会員の方も多くおられることでしょう。

いやしの祭典 会員と一緒に作るイベント・これからのJAAを象徴する存在へ



JAA感謝祭「いやしの祭典」は、日頃から全国各地でアロマセラピーの活動を続け、このJAAを形作っていただいている会員の皆さんに、さらに活動の広がりを感じていただこうと実施しているイベントです。

2012年の初開催では、事務局スタッフも初めての大型イベントに当日まで緊張の連続でした。おかげさまで、予想をはるかに上回る会員の皆さん、そして会場の外看板を見てたまたま来られたという一般の方々まで、用意したパンフレットを急遽増刷するほどの大盛況となり、JAAが推奨してきたアロマセラピーが、これ

ほど多くの皆さんと共有できる世界を創り上げてきたことに、改めて感謝と感動を覚えました。

東京での2年連続開催の後、昨年はもっともっと全国の会員と触れ合いたいとの理由から、札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、福岡の6ヶ所で開催した結果、お陰様で各会場とも大盛況となり、全国で1,700名もの動員数となりました。

昨年の大きな特徴は、各会場の企画・集客などを、開催地周辺のJAA会員の方が主体となって行ったことです。従って、イベント内容は各都市ならではのアイデア満載のイベントとなりました。各会場では各種セミナーや講演も実施しましたが、会員がアピールすること、会員同士が交流すること、そのことによって仲間をつくり、目的を共有し、アロマコーディネーターとしての活動のヒントを得た方は多かったと思います。

JAAは他のアロマセラピー団体と比較されることも多く、JAAが協会として持つ強み、ポリシー、サービスとは何かという自問自答を常に繰り返し行っています。ですが、その中核にあることはいつも人と人の繋がりであり、これからもそれを最も大切にしたいと思っています。

今年には更に開催会場を増やし、最終的には全国各都道府県での開催を目指しています。



アロマの可能性 アロマ×α

JAAは、これまで様々なジャンルの企業や地域と協力し、アロマセラピーの可能性を追求してきました。

「NTT様とのパソコンの操作から香りの発生」、「綾戸知絵さん、その他各コンサート会場での香りの演出」、「高知、沖縄などでの国産精油をめぐるツアーやクラフトコンテスト」、「映画館で香りを流したり(時をかける少女など)、映画のテーマに合わせた香りのコンテスト(パフュームなど)」、「豪華客船内でアロマサロンの運営」、「郵便局内での香りの演出」などのコラボ企画がありました。また、緩和ケアをはじめ各種医療系のイベント主催者様からのボランティア要請が増えてきましたが、全国の会員様の積極的なご協力に深く感謝を申し上げます。

今後ともあらゆる事業体とのコラボを通じて、アロマセラピーの活躍の領域を広げていきます。



会員のサポートと社会に役立つ協会をめざして

JAAのライセンス取得後、アロマを役立てられる就職を希望する方は多いです。セラピスト専門の就職紹介企業があり、JAAではそれらの就業サービスの代表格であるリジョブ様やキャリアさぼ様と提携し、JAA会員の就職サポートを担っていただいています。また、2010年には各種利用ポイントを社会活動に還元するサービスを展開するサイモンズカード様とのお付き合いが始まりました。サイモンズカードの取り扱い店でJAAの会員証を利用するとポイントが溜まります。また万が一ポイントを失効しても、その失効ポイントは集計され、全国の各種社会活動に寄付できる仕組みとなっています。使いながら社会貢献もできるポイントカードです。



人の役に立つアロマセラピーへの変遷 認知症予防・介護アロマ・膝ケア

この20年間で、アロマサロンやスクールに就職したり、アロマセラピストとして開業されたJAA会員は数千名にも及び、社会的にも美容・健康面での高い評価を得られるまでになりました。ただ、ここ数年はより具体的な現場や状態へのアプローチが求められるようになり、アロマセラピーの有用性、有益性が一つのポイントともなっています。それは、昨年発表された精油による認知症予防の実証報告と、それ機に一般の方々までが精油を購入され、人気の精油が一時品薄状態にまでなったことにも現れています。



このような背景とあいまって、JAA常任理事の浅井先生は介護の現場における「介護アロマコーディネーター」を、榎林先生は加齢とともに深刻になる膝へのケアに研究と臨床を重ね「膝ケアコーディネーター」として体系を構築し、ともにJAA認定ライセンスとして発行できるまでになりました。今後もJAAは、「より人に役立つアロマセラピー」を目指していきたいと思います。

以前は趣味的に学ぶ方も多かったアロマセラピーですが、近年はご自分が勤める病院で導入したい、ご高齢の家族のために活かしたい、周りの方に喜んでいただくサロンを開業したいなど、はっきりと目的を持った方が学んでいます。今までJAAは教育環境の充実を図って来ましたが、今後は会員様の目的達成のための、より具体的な実践的な活動のサポートを目指します。



これからのアロマセラピー

20年を振り返ると、JAAは日本のアロマセラピー業界におけるパイオニアとして走り続けてきた感があります。昨今はアロマセラピーの世界にも様々な主義主張、研究や活用方法が現れ、さらに多様化したものとなりつつあります。何が正解で何が誤りか、その答えはどこにもなく、それは私たち自身、また会員の皆さん一人一人が出さなければならないことでしょう。ですが、セラピストという存在には常にクライアントがいらっしゃいます。人に対してアプローチすることこそがアロマセラピーの醍醐味であり、多くの皆さんと共に歩み、共に考え、共に答えを模索することが、アロマセラピーの発展には欠かせません。

そのためにも、JAAは仲間としての会員を常にお迎えし、新しいアロマセラピー、未来に向けて活用されるアロマセラピーの創出を目指していきたいと思います。

皆さま、20年間本当にありがとうございました。

そしてこれからも、どうぞよろしくお願い申し上げます。